

根拠の適切さを考えて書こう①

二年 組 番)

☆ 単元の目標

- 自分の意見を支えるためのより適切な根拠の在り方について考える。
- 適切な根拠を選び、示し方や構成を工夫して、自分の意見が効果的に伝わる文章を書く。

本時の目標

○ テーマ

「中学生にスマートフォンは必要か」

- 1. 事実や情報、実体験を整理する。
- 事実・情報 (教科書139ページ参照)
- スマートフォンの機能から
 - ① インターネットに接続できる。
 - ② 友達や家族といつでも電話やメールで連絡が取れる。
 - ③ 災害時に速報が届く。また、家族が安全を確認できる。
 - ④ GPS機能により、位置情報を調べられる。

● 統計調査の結果から

- 「平成29年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」(内閣府より)
- ⑤ 約6割の中学生が、スマートフォンを持っている。
- ⑥ スマートフォンを持つ中学生の、平日のインターネット利用時間は、1日平均2時間である。
- ⑦ 中学生のスマートフォンの約45パーセントは、フィルタリングによる制限がされている。
「平成30年版 情報通信白書」(総務省より)
- ⑧ 公衆電話の数は、2007年から2017年の10年間で半分に減っている。
- 実体験(よかった体験・・・困った体験・・・**多角的に!**)

2. 1. で整理したことをふまえて、自分の立場を示そう。

- ・ 自分の立場(感情よりも**客観性**に重点をおいて)
- 「中学生にスマートフォンは必要か。」「賛成(必要) ・ 反対(必要ない) 【**説得力**をもたせて(
- 根拠 (1.をもとに、